

シリーズ  
9  
津雲田

# 「水」が輝くまち

■今月の「おじゃまします」——地域情報ネットワークは、村内でただ一つ国道一一六号に沿った集落で、吉田町と境界が接する津雲田地区におじゃましました。

津雲田地区は、村内の東側に位置する集落で、地区の東側に国道一一六号が走り、中央を馬堀用水が流れる静かで生活環境に恵まれた集落です。

この地区は村内でも珍しく、集落の真ん中を馬堀用水という大きな川が流れている地区です。この用水、古くから農業用水として重



国道の歩道工事が急ピッチに進む津雲田地区

要な役割を果たすとともに日常生活にも利用されています。しかしこの用水、川幅の割に水深が深く、流れも速いため水難事故が多くあったといえます。

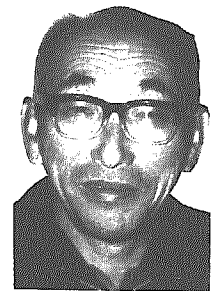
「この用水は、地区内を流れているせいもあり何人もが事故にあっています。重要な用水である反面、危険な用水でもありました。そんなことから、地区内の希望により改修工事がなされ、今ではそんな心配もなくなりまし」と改修のいきさつを語る区長の月岡さん

とここで、この地区も他地区と同様、古くから続く春祭り、秋祭りなどの伝統的行事が昔から比べると寂しくなってきたといえます。

「そりゃ昔は、祭りという神社境内に灯ろうを飾ったりたくさん夜の夜店などが並び村中で楽しんだものでしたが、近ごろはちよつとさびしくなりましたね」とそのころを懐かしみながら話す月岡区長さん。でもこの地区に続く楽しく珍しいものもあります。その一つに「耕耘機講」といわれるものがあります。

「これは、春先田んぼの農作業が始まる前に、古くなった農機具の供養と併わせその年の豊作や農作業の安全を祈るもので、農作業を間近かに控え気持を引き締めるとともに色々な話に宴席が盛り上がりです。いまは地区民の毎年の楽しみにもなっていますね」とその様子を話す区長さん。

こんな珍しい催しなどもある津雲田地区、それに老人クラブ、青年部の活動も活発です。「津雲田は、戸数が二十九戸と少ないんですが、老人クラブのゲートボール、青年部の野



津雲田区長  
つしかくじ  
月岡作治さん  
(59歳)

球などではいつも好成绩を挙げているんですよ。それに昨年の綱引き大会では練習の甲斐があつてか優勝もしたんですよ。ほんと地区の人たちの団結力とパワーはすごいですね」とまとまりの良さは抜群と話す月岡区長さん。

そんな津雲田地区、最近では国道沿いの整備や開発が進み、地区内人口が増えつつある集落の一つでもあります。「新しくこられた人たちとも最近では交流もできてきました。これからもどんどんふれあいを深め、地区民全員で新しい地域づくりができたらいいですね」と活性化に意欲をみせる区長さん。

いま農業が一番大変なときですが、それを地区内のまとまりから何かを見い出そうとする気配が感じられる津雲田地区でした。



いまはもう改修され安全な馬堀用水路

人口と世帯数 (昭和63年11月1日現在)			
人口	男	女	世帯数
137	71	66	29

## 編集後記

■早いものでもう師走。四月にこの係になってもう九か月。何かなんだか分からないうちに過ぎてしまいました。取材に飛び出して行くのだけは、なんとか慣れたものの、その後の原稿書きとなるともうダメノ締め切りころは、もう頭のかきっぱなしの毎日。■もともと文章を書くのが苦手だったのも手伝ってか、本当に自分の才能の無さに頭が痛くなる、今日このごろです……。

締め切りが近づく、毎日原稿用紙と格闘するのがわたしたちの仕事だが、総務課というセクションの關係で、「電話交換業務」にも、たまには参加する。分散型電話交換方式というものを採用しているためである。ところで、つい先日のことですが、いつものように慣れない電話交換に出ると、いきなりどなられた。対応が悪い?——と早合点しないでください。ほかの課の仕事でおしかりを受けたのです。さんざん怒られたところで担当課へ転送。後で係員に聞くと、「あまり怒っていませんよ、だって……こちらからは朝からよその課のことでさんざんしぼられたのに……。これも仕事!? (み)